

財団法人 長崎県国際交流協会

第28回 理事会資料

日 時 平成15年6月19日(木)午後2時00分

場 所 長崎グランドホテル

財団法人 長崎県国際交流協会

理 事 会 次 第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 議長及び議事録署名人の選出
- 4.
5. 議事
 - (1) 第1号議案 役員の選任について
 - (2) 第2号議案 平成14年度事業報告
 - (3) 第3号議案 平成14年度【一般会計及び特別会計】収支計算報告
平成14年度監査報告
 - (4) 第4号議案 平成15年度【一般会計及び特別会計】補正収支予算(案)
 - (5) 第5号議案 運用財産について
6. その他報告事項
7. 閉会

第 1 号議案 役員の選任について

区分	新任者	前任者	備考
理事	宮本 正則	秋山 隆雄	長崎県町村会会長 交代の為
〃	定方 郁夫	川下 満之	長崎県高等学校長協会会長 交代の為
常務理事・事務局長	鈴木 強一	徳永 英機	辞任の為
監事	白浜 重晴	出口 啓二郎	長崎県出納長 交代のため

(提案理由)

公職の異動等による辞任のため、寄附行為第 18 条第 1 項の規程により理事会において選任する必要がある。

第 2 号議案

平成 14 年度事業報告

A . 青少年啓発事業

1 . 青少年国際理解教育事業

地域の発展を担うために幅広い分野で活躍する人材育成の一環として、国際理解教育に関する事業を下記のとおり実施した。

(1) こすもぼりたん教室

県内の教育関係機関の要望に応じて、長崎県内に在住する JET 青年や留学生、国際理解教育に携わる人々を講師に児童や生徒が主役となった多文化紹介や国際理解教育に関する交流会・参加体験型学習を取り入れたプログラムの紹介を行う。平成 14 年度は下記のとおり実施した。

	学校数	生徒数	講師数	国数
小学校	12	984	26	25
中学校	17	530	23	21
高等学校	4	186	12	9
大学	1	89	1	1
延べ合計	34	1,789	62	56

(2) みんなで国際理解

長崎県内に在住する JET 青年や留学生などを講師に県内の青少年が各地域において国際理解を深める機会を提供する。平成 14 年度は下記のとおり、各地域の団体との連携により、地元住民との交流会等を実施した。

事業名	開催日	対象	講師	国
地球の日	H14.5.19	500	4	3
ジュニア見聞録事前学習会	計 3 回	120	3	3
ヤングネットワーク九州 2002	H14.6.23	30	2	2
福江国際交流こども会	H14.7.26	120	14	10
夏休みこども国際クラブ	計 5 回	100	13	12
中国理解連続講座 in 平戸	計 10 回	300	8	1
大浦地区子ども会ハローウィン	H14.11.1	40	3	3
大瀬戸グリーンツーリズム	H14.11.17	50	26	13
伊良林 PTA 交流会	H14.11.30	72	1	1
学校運営研修会	H15.2.1	17	1	1
佐世保天心寮での交流学習会	H15.1.18	43	3	3
国際理解教育指導者養成セミナー	H15.2.16	22	1	1
総合の時間のための教員対象セミナー(共催ワールドステイアーズセンター)	計 11 回	60	11	11
国際スクール(開催地:長崎 2 回・島原・佐世保)	計 4 回	302	27	17
合計		1,776	117	81

(3) 留学生ボランティア登録制度

在住外国人で県民との交流を希望する留学生及び在住外国人の登録を行い、県内で行われる催しへの紹介を行う。平成 14 年度の登録者数は 23 名で、当協会が主催する事業等へ参加した。

(4) 国際映画祭

長崎地域の将来を担う青少年やその青少年を取り巻く環境に楽しい雰囲気の中で多様な文化に触れる機会を提供することで、外国への理解を深めて地域社会のすばらしさに気づききっかけ作りを目的に、在住外国人が講師となり、外国映画を上映したあと、茶話会形式で映画の背景となる文化の説明をし、映画のテーマに沿った意見交換を行う。

平成 14 年度は下記のとおりで開催した。

開催地	開催日	映画タイトル	参加者数
佐々町	H14.4.20	パパの国、僕の国(イギリス映画)	29 名
松浦市	H15.3.2	8月のクリスマス(韓国映画)	25 名

B. 外国人支援事業

1. 留学生奨学金交付制度

長崎県内の大学等に在籍する留学生に対して、経済的支援を行うために月額 2 万円の奨学金を交付する。

平成 14 年度は 10 名の私費留学生に交付した。

大学名	交付人数	大学名	交付人数
長崎大学	2 名	長崎県立大学	1 名
長崎総合科学大学	1 名	長崎国際大学	3 名
長崎純心大学	1 名	長崎短期大学	1 名
長崎ウエスレヤン短期大学	1 名	合計	10 名

2. 国民健康保険料の一部補助

県内の大学等に在籍する私費留学生に対して、国民健康保険料の一部補助として在学期間中 1 回に限り 1 万円の補助を行う。

平成 14 年度は 50 名に対して補助金を交付した。

大学名	交付人数	大学名	交付人数
長崎大学	6 名	長崎外国語大学	4 名
長崎総合科学大学	10 名	長崎県立大学	2 名
長崎純心大学	1 名	長崎国際大学	18 名
活水女子大学	1 名	長崎短期大学	4 名
長崎ウエスレヤン短期大学	4 名	合計	50 名

3. 留学生担当者会議

ニーズにかなう今後の留学生支援のあり方、施策などを検討するために、長崎県内にある各大学等の留学生実務担当者による現状報告や意見交換を行う。

平成 14 年度は下記のとおり 2 回開催した。

	開催日	参加大学数	参加者数
第 1 回	H14.6.7	11 校	24 名
第 2 回	H15.2.7	11 校	18 名

4．外国人のための無料カウンセリング

文化や言葉の壁で心を痛めている在住外国人に対し、ボランティアのカウンセラーによる英語・日本語での無料カウンセリングを行う。

平成 14 年度は 14 名の相談を行った。

5．長崎地域留学生住宅保証制度

民間のアパート等への入居契約に必要な連帯保証人の確保に悩む県内の留学生で、留学生向け住宅保険に加入した留学生について、在籍大学等との協力体制をもとに連帯保証人制度を設置した。

平成 14 年度の新規加入は 3 校で、延べ 5 校が同制度に加入し、91 名の留学生の連帯保証を行った。

6．留学生向け英語補講の実施（新規）

長崎大学が実施する母国の教育事情の理由で、英語教育を受けていないで、大学の必修英語の単位の取得に苦労している留学生を対象に英語講座を開催した。

クラス	講座日	開催回数	受講者数
初級	月曜・水曜 17:00～19:00	20 講座（週 2 回）	38 名
中級	火曜・木曜 17:00～19:00	20 講座（週 2 回）	28 名

7．長崎地域日本語指導員（コーディネータ）研修会（共催）

長崎県内の在住外国人が日本語を学びやすい環境を提供していくために、日本語指導者の養成講座を開催する。

平成 14 年度は文化庁が社団法人国際日本語普及協会に委託する「地域日本語指導員研修会」を佐世保市中央公民館で平成 14 年 8 月 24 日から 25 日にかけて開催した。また参加者の希望により「長崎県内日本語指導者メーリングリスト」を作成した。

8．「留学生のためのせいかつ・おりえんてーしょん」事業（共催）

財団法人中島国際交流記念財団が財団法人日本国際教育協会に委託実施している「留学生地域支援事業支援金」事業の一環として、3 カ年計画で長崎県内に住む留学生がよりよい環境で生活できるよう留学生に関する情報や留学生が必要な情報提供を行う。

平成 14 年度は留学生にアンケートを実施し、また 20 名の留学生を「留学生検討委員」として委嘱し、検討委員会を開催し、各留学生が新しく来日する留学生のためのアドバイスや長崎での生活情報等を紹介する CD-ROM を作成した。

9．英文情報誌「長崎ビート」作成事業

在住外国籍県民が長崎県にて生活するにあたり必要な情報を提供し、また観光等で短期来崎している外国人にも滞在期間中に地域で行なわれている様々な催しについての情報を提供することで、地域文化への理解を深めるきっかけ作りを目的に、長崎の文化等を紹介する記事、催しや生活情報などを 8 ページ程度にまとめ年 10 回（各 600 部）発行し、1 月号からは当協会ホームページに掲載し広く閲覧できる環境作りを行った。

C . 情報提供・啓発普及事業

1 . 国際交流・協力に関する情報の収集・提供と相談事業

(1) 国際交流・協力に関する様々な情報を収集し、ホームページを通して情報提供を行った。

平成 14 年度は平均週 1 回のペースでホームページの更新を行い、情報提供を行い、平成 14 年度は合計で 15,119 件のアクセスがあった。[URL:http://www.nia.or.jp](http://www.nia.or.jp)
アクセス件数(月別)

4 月	102	10 月	1,215
5 月	118	11 月	1,247
6 月	519	12 月	1,053
7 月	1,337	1 月	1,464
8 月	1,587	2 月	2,741
9 月	1,354	3 月	2,382

(2) パンフレットコーナーや図書・ビデオコーナーを充実させ、県民による国際交流フロアの利用拡大を促進した。

平成 14 年度は 89 冊の書籍及びビデオを新たに購入し、図書コーナーの充実を図った。また、県民への国際協力に関するより一層の情報提供を図るため(財)国際協力推進協会との連携により、「国際協力プラザ」コーナーを設置した。

(3) その他の相談業務

平成 14 年度は協会専属の国際交流員(CIR)及び職員による、外国語での生活相談、行政・医療機関での手続き通訳・翻訳、各種文化講座の紹介、海外留学に関する相談等を随時行った。

2 . 国際交流情報誌「なびあ」の発行

県内外の様々な情報や国際理解・啓発記事、イベント等の案内を掲載し、県民へ国際交流・協力活動への理解促進を図った。

3 . 国際理解講座の開催

県民を対象に、地球規模の様々な問題や課題について理解し行動するためのきっかけづくりとして、参加型ワークショップを取り入れた下記の事業を実施した。

年月日	事業名	共催	参加者	場所
H14.9.15	開発教育市民セミナー 「世界がもし 100 人の村だったら」	ワールド・ステイーズ・センター、長崎県青年海外協力協会と共催	15 名	佐世保市 ふれあいセンター
H14.10.22	開発教育ワークショップ Part 1 「世界がもし 100 人の村だったら」	JICA 九州国際センターと共催	36 名	長崎市民会館
H14.10.24	開発教育ワークショップ Part 2 「新・貿易ゲーム」	JICA 九州国際センターと共催	15 名	長崎市民会館

4 . 韓国理解促進事業の実施

近年関心が高まっている隣国・韓国との交流促進、文化理解を深めるため韓国語講座を実施した。また、韓国語の学習の成果を実地研修する目的で韓国研修旅行を実施した。

(1) 韓国語講座

・ 期 間 平成 14 年 9 月～平成 15 年 2 月

- ・場 所 長崎県勤労福祉会館
- ・講 師 全 裁弼（ジョン・ジェピル） 長崎県国際交流員
- ・受講者数 入門クラス 36名 初級クラス 28名

(2) 韓国研修旅行

- ・日 時 平成 15 年 2 月 22 日（土）～24 日（月）
- ・研修内容 東国大学日本語専攻学生との交流、グループ別地域文化研修、民族芸能団「興土団」との交流及び韓国伝統楽器の講習等
- ・参加者数 18 名

D . 国際交流担い手育成事業

1 . 民間国際交流団体連携事業

地域の国際交流の担い手となる民間国際交流・協力団体のネットワーク化を進めると共に、国際交流のすそ野を広げるため、各交流団体が連携して事業にあたる「ながさき国際協力・交流フェスティバル」を開催した。

- ・日 時 平成 14 年 10 月 27 日（日） 10 時～16 時
- ・場 所 おくんち広場（長崎市元船町）
- ・参加団体 36 団体
- ・来場者数 約 5000 人
- ・内 容 パネル展示等各団体の活動紹介、海外民芸品の展示、各国料理の販売、民族楽器や衣装の体験、外国語講座、国際理解クイズ、ステージでの民族舞踊・音楽の演奏、フリーマーケットなど

2 . 草の根国際交流支援事業

地域で活動する民間国際交流団体の活動を支援するため、下記の事業に対して助成金を支給した。

	団 体 名	助 成 事 業
前	長崎胡弓愛好会（長崎市）	胡弓奏者・趙国良氏と北京中央音楽院芸術団を招聘して日中国交回復 30 周年記念事業「中国音楽の夕べ」を開催。
	日本舞踊「一寿会」（長崎市）	日本舞踊の披露や留学生などが母国の踊りを紹介する「交流のつどい」を開催。
	ながさき女性団体ネットワーク（長崎市）	上海師範大学の女性教授を招聘し、中国事情の講演会や民族舞踊などの日中文化交流事業を実施。
期	バングラデシュの母子保健センターを支援する会（長崎市）	バングラデシュで医療協力活動を行う NGO を支援するためチャリティコンサートを開催。
	アジアライブ実行委員会（佐世保市）	「100 年の記憶～アン・ピクトル写真展」の開催及び作家・姜信子氏の講演会の開催。
	ワールド・スタディーズ・センター（小佐々町）	ベトナム南部の住居のない貧困世帯のために、家を建てる共同作業を行う「ベトナムで家を建てようワークキャンプ」を実施。
後	N・WIP ながさき女性国際平和会議（長崎市）	屋久島在住の作家星川淳氏を招き、世界の現状を環境や平和の視点で考える講演会「非戦 - 未来からの贈りもの」を開催。
	波佐見町国際交流クラブ（波佐見町）	韓国・晋州市で開催される「日韓交流音楽の夕べ」に参加。音楽交流や市民交流を行った。
	平戸国際交流会「HIRA の会」（平戸市）	中国・南通市の小学生民族芸術団を招聘しての演奏会や中国人留学生との交流事業「ニイハオ 30 祭」の開催。

3. ボランティア育成事業

(1) 「留学生ホストファミリー交流プログラム」の実施

県内在住の留学生と日本人家族が家族ぐるみの継続的な交流を行うことで留学生の精神的な支えとなり、また、お互いの文化理解につなげていくことを目的に「留学生ホストファミリー交流プログラム」を実施した。

- ・交流期間 平成 14 年 12 月 7 日～平成 15 年 3 月 31 日
- ・参加者 留学生 30 名 日本人家族 30 家族
- ・留学生内訳 長崎大学 13 名 長崎総合科学大学 3 名 長崎純心大学 1 名
長崎国際大学 9 名 長崎短期大学 2 名 佐世保工業高等専門学校 1 名 ライデン大学
ハウステンボス校 1 名 (計 12 カ国)

(2) ホームステイ及びホームビジットの受入・交流事業

- ・平成 14 年度新規登録件数 3 家庭
- ・登録家庭総数 35 家庭
- ・平成 14 年度斡旋件数 4 件 (受入家庭 39 家庭)
- ・ホームステイした外国人 48 名

(3) ボランティア通訳及び翻訳の登録・派遣事業

- ・平成 14 年度新規登録者数 27 名
- ・登録者総数 110 名
- ・平成 14 年度斡旋件数 16 件 (通訳・ガイド・翻訳従事者数 41 名)

(4) 業務支援ボランティアの登録

協会の業務支援ボランティアの登録を行い、協会運営に参加していただいた。

- ・業務支援ボランティア 14 名

(5) ボランティア通訳者の知識や技術力の向上を図ることを目的に、英語の登録者を対象に連続養成講座を実施した。

・「ボランティア通訳ステップアップセミナー」の実施

日 程 平成 15 年 2 月 17 日・19 日・25 日・3 月 1 日

時 間 昼の部 14 時～16 時 夜の部 18 時～20 時

講 師 ハイディ・グラハム、ジョー・サン (両名は国際交流員)

参加者 29 名

4. 国際交流団体ダイレクトリーの発行

地域の国際交流の活性化とネットワーク促進の一助とするため県内の国際交流・協力団体の活動内容を紹介する「長崎県国際交流・協力団体ダイレクトリー」(1000 部)を発行した。

E. 海外移住関連事業

(1) 移住者留守家族、在外県人会にかかる連絡調整、相談業務を行うとともに、「移住家族新聞」や「海外新聞」、県内市町村の広報誌を送付し、情報を提供した。

(2) 南米の県人会業務を支援するため補助金を交付した。

- ・ブラジル 800,000 円 ポリビア 100,000 円 パラグアイ 100,000 円
アルゼンチン 100,000 円

(3) 在外長崎県人会創立 40 周年記念式典事業補助として 2,300,000 円を交付した。

F . 他団体との共催事業

「アフガニスタン難民支援のための平和チャリティコンサート」の開催

長年の内戦や飢饉、昨年の空爆などの影響で、難民や避難民として困難な状況の中で生きるアフガニスタンの人々を支援するため、被爆地長崎から平和を願うメッセージを込めて、当協会を含む国際交流や福祉、平和、学生の団体が実行委員会を構成しチャリティコンサートを開催した。また、アフガニスタン写真展、地雷展、チャリティバザーを同時開催した。

- ・ 共催団体 アジアとむすぶ市民の会・長崎、生活共同組合ララコープ、ナガサキ学生平和ボランティア、(社)長崎県国際親善協会、(社)長崎県ボランティア協会、長崎国際交流塾、長崎ネットワーク市民の会、(特活)ナガサキピーススフィア貝の火運動、(財)長崎 YMCA、
- ・ 日 時 平成 14 年 4 月 5 日(金)
写真展他 17 時 30 分～21 時
コンサート 18 時 30 分～20 時 30 分
- ・ 会 場 長崎市民会館
- ・ 参加者数 約 350 名
- ・ 内 容 瑞宝太鼓、中国獅子舞、ハンドベル、アフリカ民族音楽、フォルクローレ、インドネシアの踊り、民族衣装ファッションショー
- ・ 収 益 金 コンサート・バザーの収益金の合計 773,328 円を NGO「ペシャワール会」に寄付した。

G . 長崎県ソウル事務所(平成 14 年度末廃止)

平成 14 年度は、大韓航空やエージェントと協議を重ねながら対策を検討し、ソウル - 長崎直行定期便とチャーター便を適宜組み合わせるなどにより、ソウル - 長崎直行便の運航回数と長崎への送客増加を図ることができた。

また韓国人観光客送客に努めながら、長崎県と地理的・歴史的に密接な関係にある韓国との友好交流の一層の拡大のため、各種交流事業に対する支援や観光長崎県の広報活動に注力し、下記のような事業を実施した。

- * 新聞、雑誌等への長崎紹介広告掲載
- * 韓国のテレビ局の長崎県取材に関する企画・斡旋及び支援
- * 新聞、雑誌、インターネット放送等への長崎紹介記事提供
- * 韓国エージェントの長崎県への招致事業の企画・斡旋及び支援
- * 事務所ハングル版ホームページの継続的リニューアルによる最新情報の提供
- * ハウステンボス等の県内宿泊・観光施設の韓国での広報活動支援
- * ソウルレポート・NHK 放送・FM 長崎等による県民への韓国情報の広報
- * 長崎県内各団体等韓国研修団へのソウル事務所での韓国の現状説明
- * 長崎県立水産高校実習船の訪問交流会支援
- * 各種韓国訪問団の来韓に関する連絡・調整、支援

- * 日韓海峡沿岸県市道の各種交流会議の連絡・調整、支援
- * 日韓の自治体・民間の交流連絡・調整、支援
- * 長崎港 - 釜山港コンテナ航路ポートセールス連絡・調整、支援
- * 長崎便利用促進対策事業実施に関する事務

H. 受託事業

(1) 海外技術研修員受入事業

- ・ 別紙のとおり

(2) 旅券発給事務

- ・ 34,834 件の旅券を発行した。(前年度 36,530 件)
- ・ 月別実績件数

4月	2,284	10月	3,578
5月	2,422	11月	1,875
6月	2,619	12月	1,722
7月	3,820	1月	2,268
8月	5,569	2月	2,403
9月	4,671	3月	1,603

(3) シルバー海外協力事業

県内における定年退職者等を対象に中国で技術指導等を行うことにより、地域レベルの国際協力を図るため、一定の技術や専門知識を有するシルバー人材の募集・登録を行った。

- ・ 平成 14 年度登録者総数 26 名

I. 会議に関する事項

区分	開始年月日	議 事 事 項	結 果
第 26 回理事会	平成 14 年 6 月 27 日	1. 役員の選任について 2. 平成 13 年度事業報告 3. 平成 13 年度収支計算報告 【一般会計及び特別会計】 4. 平成 14 年度補正予算 【一般会計及び特別会計】	原案通り承認
臨時理事会	平成 14 年 12 月 19 日	1. 役員の選任について 2. 寄附行為の改正について 3. 平成 14 年度補正予算 【一般会計及び特別会計】	原案通り承認
第 27 回理事会	平成 15 年 3 月 27 日	1. 平成 14 年度補正収支予算 【一般会計及び特別会計】 2. 平成 15 年度事業計画 3. 平成 15 年度収支予算 【一般会計及び特別会計】	原案通り承認